

広報 五戸

2004年 / 1月号 / Vol. 535

五戸町消防団初午

3月7日(日) 8時観閲

— 栄町通り —



1年の無病息災を願い
— 53回目の裸参り —

新年の あいさつ



五戸町長
三浦正名

あけましておめでとうございます。
います。

町民の皆様には、今年こそよい年でありたいという強い気持ちがあるうかと存じます。

と言いますのも、国では構造改革の成果の芽生えが見え始めている、という論評の中で、確かに、大都市あるいは大企業の一部に景気回復の兆しが見え、また平均株価も一万円台を回復するなど、長引く不況も底を打ったという観測もあります。地方あるいは中小企業にとりましては全

くその実感がないのが現実であります。

当地域では更に、平成五年以来とも言われる大冷害が襲い、稲作を中心に農作物が大打撃を受けました。基幹産業を農業とする五戸町にとりましては大変深刻な問題でありました。

ところで、稲作については、これから冷害以外に新たな問題が待ち受けております。それは改正食糧法施行により、米政策改革が本格スタートするからであります。今までの「作らない面積の配分」から

「作る数量の配分」への転換となります。つまり、消費者の需要に見合った量を生産するというところで、消費者の要望に合わない米は需要の低下原因とされ、結果的にその生産面積は削減されることとなります。今後、農業関係機関・団体と連携し、消費者が求める米の供給体制の確立を働きかけてまいります。

さて、新年を迎えた五戸町であります。ここ四年間、この地方で議論を重ねてまいりました町村合併問題も最終局面を迎えようとしております。

一昨年十二月に立ち上げました五戸町・倉石村合併協議会も、すべての合併協定項目の協議が整い、また「合併まちづくり計画」もまとまりました。一月十五日には合併調印式が行われ、また両町村議会で合併についての議決をいただき、これにより、所要の手続き及び準備を経て、七月一日に合併の成立となる予定であります。

私は、常々「合併はゴールではなく、新たなスタートで

ある」、また「合併は目的ではなく手段である」と申し上げてまいりました。つまり、合併という手段を携え、新たな「まちづくり」のスタートラインにつくということであります。

しかしながら、私は必ずしも順風満帆での船出になるという甘い考え方は持つておりません。国の財政難からくる地方交付税の削減、青森県の財政改革プランによる補助金の削減という逆風を受けることも覚悟しなければなりません。しかし、合併という行財政改革の最大の手段をもって立ち向かってまいります。

私の掲げております政策は、すべて「合併まちづくり計画」に盛り込んでおります。この計画でもって再スタートを切るということであります。町民各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、町民の皆様方には、本年も御健勝でありますよう御祈念申し上げて、私の新年に当たってのあいさつといたします。

申年(しんねん)の豆知識

◎ぐんぐん伸びる年
申に人偏をつける「伸びる」になります。この字のように申年はぐんぐん伸びていく年です。

◎豊年満作の年
申の字はもともと稲妻を表し、稲妻は稲穂と相通じます。今年は豊年満作が期待できます。

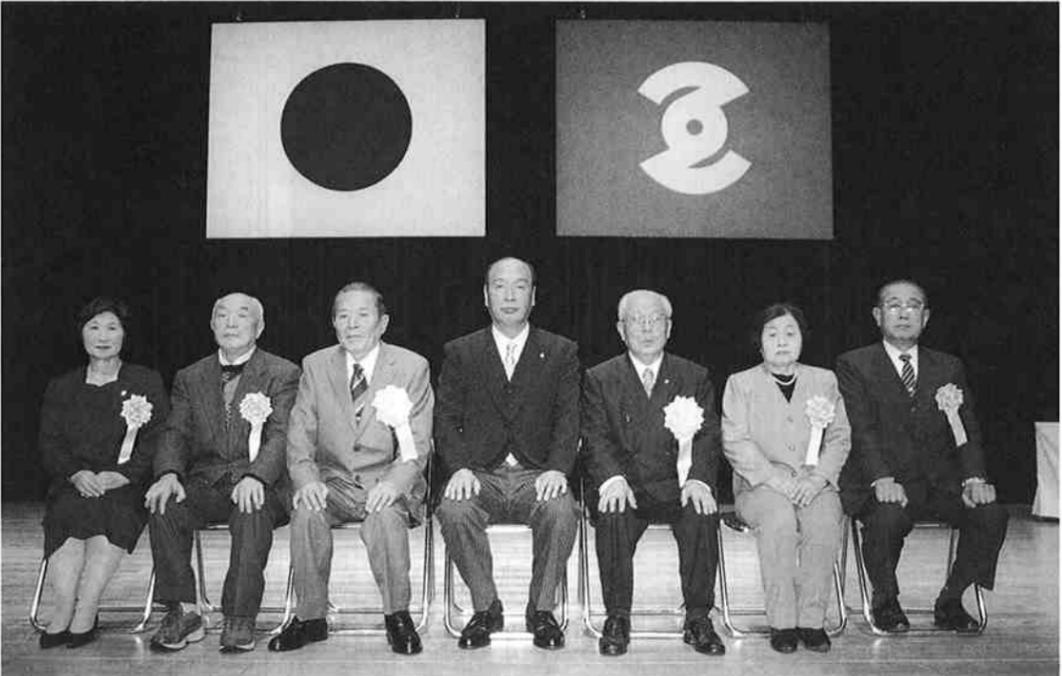
◎申年の出来事

- ・昭和19年 連合軍ノルマンディー上陸
- ・昭和31年 日ソ国交回復
- ・昭和43年 東京都府中市の3億円事件 川端康成にノーベル文学賞
- ・昭和55年 がん具「ルービック・キューブ」大ブーム
- ・平成4年 日本人初の宇宙飛行士毛利衛さん宇宙へ
- 山形新幹線開業

今年は、どんな出来事があるでしょうか。

功勞者・善行者 7名1団体を表彰

五戸町表彰式



左から食生活改善推進員会(川村副会長) 柏村さん(代理) 鈴木さん 三浦町長 三浦さん 関根さん 平さん

平成16年表彰式が1月5日町立公民館で行われ、五戸町表彰条例に基づき運輸交通・消防行政・その他各分野で尽力された功勞者2名、善行者5名と1団体が表彰されました。

表彰式には町内各界の関係者約230名が出席。三浦町長が「皆さんの御貢献を感謝いたします。ますますの御活躍をお願いいたします」とたえ、受章者一人ひとりに賞状と記念品を贈り、労をねぎらいました。

受章者を代表して三浦兼藏さんが「長年にわたり職務を全うしてきました。これから、豊かで住みよいふるさと、輝かしい町づくりのために一層努力します」と謝辞を述べました。

表彰式終了後には、恒例の年賀交換会が開かれ、出席者は町のさらなる発展と新年を祝いました。

功勞章

氏名	功績
三浦 兼藏 (76歳) 天満	多年にわたり、国鉄職員として運輸交通業務の向上に尽力され、また、五戸町行政連絡員として町政の伸張に貢献
鈴木 徳一 (75歳) 下七沢向	多年にわたり、五戸町消防団分団長等として消防行政の伸張に貢献

善行章

氏名	功績
佐々木 壽一 (55歳) 切谷内字粒ヶ谷地	多年にわたり、納税貯蓄組合長等として納税思想の普及高揚に貢献
佐藤 久治 (65歳) 新郷村	多年にわたり、納税貯蓄組合長等として納税思想の普及高揚に貢献
柏村 せつ (72歳) 神明後	多年にわたり、納税貯蓄組合長等として納税思想の普及高揚に貢献
平 一郎 (66歳) 天満後	多年にわたり、納税貯蓄組合長等として納税思想の普及高揚に貢献
関根 喜代子 (76歳) 愛宕下夕	多年にわたり、保健協力員として地域住民の健康保持増進と衛生思想の普及に貢献
五戸町食生活改善推進員会	多年にわたり、地域住民の公衆衛生の発展と健康づくりの推進に貢献

新年の恒例行事

新春マラソン大会



五戸陸上競技協会（江渡守会長）主催の第22回新春マラソン大会が1月3日、ひばり野公園周回コースで開催されました。

2 km・3 km・5 kmのそれぞれのコースに参加した約50人の選手はスターターの号砲とともに飛び出し、新年のさわやかな風を全身に浴び、心地よい汗をかいていました。

新春書き初め大会



「輝く新春を祝い、書き初めを通じ生涯学習の向上を図ろう」と五蘊書道会（佐々木政司会長）主催の第15回新春書き初め大会が1月3日、町立公民館で行われました。

この日は、幼児から大人までの約15人が参加、「のびる力」などの課題に取り組み、今年1年の思いを筆に込めていました。

健康づくり

第23回五戸町健康づくり大会が12月14日、町立公民館で開催されました。



この日は、食生活改善推進員会（五戸長栄会）による減塩食品の試食、野菜をテーマにした紙芝居などが設けられ、参加者は熱心に聞き入っていました。

また、大ホールでは「健康は日々の暮らしの積み重ね」と題して八戸生協診療所竹本照彦所長が「家族と一緒に笑ったり、楽しむことが大事です」と毎日の生活の大切さを講演しました。

「けの汁」を試食する参加者

議会ニュース

町議会定例会（第31回）は12月11日から16日までの6日間の会期で開催されました。この議会では平成15年度の補正予算など13件の議案が審議され、原案のとおり可決されました。

今回の議会で決まった主なものを紹介します。

- ▼平成15年度補正予算
- 一般会計
 - 歳入歳出それぞれ1億9,530万1千円を追加し、予算総額を71億2,563万6千円としました。
 - 老人保健特別会計
 - 歳入歳出それぞれ4,445万4千円を追加し、予算総額を21億6,164万1千円としました。
 - 国民健康保険特別会計
 - 歳入歳出それぞれ1億2,520万6千円を追加し、予算総額を20億8,690万3千円としました。
 - 介護保険特別会計
 - 歳入歳出それぞれ4,907万6千円を追加し、予算総額を13億7,539万8千円としました。
 - 下水道事業特別会計
 - 歳入歳出それぞれ430万2千円を追加し、予算総額を5億533万6千円としました。
 - 病院事業会計
 - 収益的収支
 - 収入総額30億6,061万円、支出総額31億651万3千円とし、4,590万3千円の収入不足となりました。
 - 資本的収支
 - 収入総額1億5,130万6千円とし、支出には補正がなく、6,797万8千円の収入不足となりました。

五戸総合病院 地域総合医療の拠点に

●五戸総合病院医師一覧表（2月）

診療科	職名	医師名	備考
内科	副院長	新井田修久	
	科長	愛川俊信	
	副院長	西谷大輔	
	副院長	矢田部宏一	
	副院長	東山明弘	
	非常勤	三浦昌人	水曜日
	非常勤	大根田昭	第1・3火曜日
（循環器）	非常勤	蝦名宣男	
	非常勤	渡部秀一	（科長）
	非常勤	佐々木剛	
	非常勤	土原一生	
	非常勤	井戸川敏彦	
	副院長	三上靖隆	
	非常勤	（弘前大学）	第1・3金・土曜日
整形外科	科長	深瀬栄一	（医療技術局長）
脳神経外科	科長	小林貴樹	
	非常勤	今泉典子	火・水曜日
	非常勤	高橋二郎	火・水曜日
	非常勤	（弘前大学）	月・金曜日
小児科	非常勤	袴田真理子	水曜日
	非常勤	井上卓	火曜日
	非常勤	袴田真理子	水曜日
	非常勤	田村新	木曜日
	非常勤	去石巧	金曜日
耳鼻科	非常勤	（弘前大学）	第1・3土曜日
皮膚科	非常勤	木曜日	

※曜日ごとの外来診療にあたる医師名は、各外来受付に表示してあります。※都合により変更になることがあります。

●12月の診療科別患者数

区分	診療科	内科	外科	産婦人科	眼科	小児科	耳鼻科	整形外科	脳外科	皮膚科	計
		外来	4,697 (4,656)	729 (689)	536 (546)	1,109 (1,156)	138 (232)	643 (684)	2,006 (1,968)	673 (677)	222 (272)
入院	2,954 (3,391)	651 (615)	224 (178)	39 (31)	0 (0)	0 (0)	823 (717)	687 (668)	0 (0)	5,378 (5,600)	
4月からの延患者数	外来	41,427 (43,383)	6,619 (7,221)	5,082 (5,620)	9,991 (10,707)	1,243 (2,168)	6,103 (6,728)	18,850 (18,911)	6,157 (5,618)	2,408 (2,525)	97,880 (102,881)
	入院	26,634 (27,731)	6,170 (5,402)	2,308 (2,676)	354 (426)	0 (0)	0 (0)	5,121 (5,990)	5,877 (4,681)	0 (0)	46,464 (46,906)

※ 入院 = 毎日24時現在の在院患者延数 + 毎日の退院者数 () = 昨年度同期

文芸のく

雪つもる愛もたつぷり母の鍋
心打つ手紙何度も読み返す
和を乱す小石を投げる天の邪鬼
家族の和入り切らない兎小屋
手紙書く国語辞典をそばに置く
角少し押さえて丸い嫁姑
浄土からの照り返しかと見る夕日
書道展筆の流れに魅せられる
遠景に見とれて道を見失う
春風も一緒に乗せて金魚売り
雑草も踏まれて伸びる強さ持ち
掴んだ手離した手にも運不運
一通の手紙ドラマの口火切る
古い具合気付けせ沁みてくる寒さ
落とし蓋母の思案がまだ続き
寄せ鍋の箸が平和をつつき合う
平和日本火縄が少しさな臭い

丸屋 かく (天満後)
軽米 友子 (下毛沢向)
高奥 恵女 (川原町)
三浦 幸子 (ひばり野)
三浦マサ子 (豊間内)
前田 芳美 (中津文孝)
田鎖 晴天 (苗代沢)
田中 実 (新蔵長根)
大釜 丸子 (竹原)
小泉 綾子 (豊間内)
伊藤 綾子 (川原町)
上山ツタエ (正場沢)
藤田 雪魚 (川原町)
中田善太郎 (川原町)
岩間 夢都 (川原町)
森越剣児楼 (川原町)
浜中もとく (川原町)

〈短歌〉
爽やかに村の鎮守の初詣で
互いに声かけ「今年もよろしく」
ひたすらに描き続けた風景の
画集に別れの従兄弟に涙
おいらせの山嶺見れば雪の花
枝に抱かれて桜の如く

橘 ミネ子 (上市川)
類家 清美 (切谷内)
原 はつゑ (上市川)

●皆さんの作品を「文芸このへ」に発表してみませんか。
川柳・短歌などの区別を明記し、総務課広報係へ。
お待ちしております。



このへ
大空に夢をはこぶ町

臨時職員募集

職種および採用予定人員

- ・ 役場臨時職員（事務職） 4人程度
- ・ 保育所臨時職員（保育士） 1人程度

採用基準

- ・ 事務職 昭和57年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた者で、高校卒業の者
- ・ 保育士 昭和54年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた者で、保育士の免許を有する者、または平成16年3月31日までに保育士の免許を取得する見込みの者

雇用期間

平成16年4月1日から
6月30日まで

賃金

日額 5,300円
（雇用保険・社会保険あり）

面接の日時および場所

申し込み者に直接通知します。

申し込み期間・時間

平成16年2月2日(月)から
2月20日(金)まで
午前8時30分から午後5時
まで

※郵送の場合は、2月20日までに必着。

申し込み方法

役場総務課備え付けの履歴書を総務課に提出してください。
※保育士の申し込み者については、保育士免許証の写しを添付してください。

問い合わせ先

役場総務課
TEL 62-2111
内線 212

職種および採用予定人員

- ・ 学校臨時技能主事 2人
- ・ 臨時給食労務手 2人
- ・ 賃金・勤務場所など 学校臨時技能主事

面接の日時および場所

（雇用保険・社会保険あり）
切谷内小学校
上市川小学校

臨時給食労務手

日額 2,650円
（4時間勤務）
五戸小学校
五戸中学校

採用基準

五戸町在住者でおおむね40歳までの身体健康な者

雇用期間

平成16年4月1日から
9月30日まで

面接の日時および場所

申し込み者に直接通知します。

申し込み期間・時間

平成16年2月2日(月)から
2月20日(金)まで
午前8時30分から午後5時
まで

申し込み方法

教育委員会学務課備え付けの履歴書を学務課に提出してください。

問い合わせ先

教育委員会学務課
TEL 62-2111
内線 271

職種および採用予定人員

- ・ 助産師臨時職員 1人程度
- ・ 看護師臨時職員 2人程度
- ・ 採用基準 おおむね40歳までの者で、免許を有する者

雇用期間

平成16年4月1日から
9月30日まで

面接の日時および場所

申し込み者に直接通知します。

申し込み期間・時間

平成16年2月2日(月)から
2月20日(金)まで
午前8時30分から午後5時
まで

申し込み方法

総合病院管理班備え付けの受験申込書、履歴書に免許証の写しを添付して管理班に提出してください。

その他

賃金などは、総合病院管理班へ問い合わせください。

問い合わせ先

総合病院管理班
TEL 61-1200

放課後児童クラブ
指導員募集

採用予定人員

- ・ なかよしクラブ 3人
- ・ (五戸小学校)
- ・ にこにこクラブ 3人
- ・ (上市川小学校)

採用基準

五戸町在住者でおおむね50歳までの心身ともに健康な者で、特定の免許や資格は必ずしも必要ありません。

勤務時間

月々金 午後2時（授業終了後）から
午後6時まで
土・長期休み 午前8時から
午後6時まで

※土・長期休みの勤務は交代制です。

休日

日祝祭日・お盆・年末年始

雇用期間

平成16年4月1日から
平成17年3月31日まで

賃金

児童に関わる資格（教員・保育士など）を有する者
時給 800円

臨時職員募集

職種および採用予定人員

- ・ 役場臨時職員（事務職） 4人程度
- ・ 保育所臨時職員（保育士） 1人程度

採用基準

- ・ 事務職 昭和57年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた者で、高校卒業の者
- ・ 保育士 昭和54年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた者で、保育士の免許を有する者、または平成16年3月31日までに保育士の免許を取得する見込みの者

雇用期間

平成16年4月1日から
6月30日まで

賃金

日額 5,300円
（雇用保険・社会保険あり）

面接の日時および場所

申し込み者に直接通知します。

五戸町奨学生
候補者募集

その他の者

時給 650円

申し込み方法

平成16年2月16日(月)から
2月20日(金)まで
役場厚生課備え付けの申込書・履歴書を厚生課に提出してください。

問い合わせ先

役場厚生課
TEL 62-2111
内線 125

新しい食品安全行政

農林水産省では、新しい食品行政に取り組むための指針として「食の安全・安心のための政策大綱」を定めました。概要は次のとおりです。

- ・ 生産段階から消費段階にわたる安全性の確保
- ・ 消費者の安心・信頼の確保
- ・ 個別課題への対応 など

問い合わせ先

東北農政局青森農政事務所
地域第二課消費・安全
TEL 27-4001

臨時給食労務手

日額 2,650円
（4時間勤務）
五戸小学校
五戸中学校

採用基準

五戸町在住者でおおむね40歳までの身体健康な者

雇用期間

平成16年4月1日から
9月30日まで

面接の日時および場所

申し込み者に直接通知します。

申し込み期間・時間

平成16年2月2日(月)から
2月20日(金)まで
午前8時30分から午後5時
まで

申し込み方法

教育委員会学務課備え付けの履歴書を学務課に提出してください。

問い合わせ先

教育委員会学務課
TEL 62-2111
内線 271

米穀取扱事業者は
登録制から届出制へ

※申し込みの際、面接をしますので、保護者同伴の上、提出してください。
提出・問い合わせ先
教育委員会学務課
TEL 62-2111
内線 272

申し込み期間

平成16年3月1日(月)から
3月31日(水)まで

十和田地域広域事務
組合指名競争入札
参加資格申請書受付

※申請区分および有効年度
物品の製造・買入れ
平成16・17年度
受付期間
平成16年2月2日(月)から
2月27日(金)まで

提出書類・方法

※ただし休日を除く
統一様式または各自様式で
持参か郵送してください。

提出・問い合わせ先

〒034-0093
十和田市西十二番町12-22
十和田地域広域事務組合
総務課
TEL 0176-2011132

米穀の概要

この改正により、現在の計画流通制度が廃止され、米穀取扱事業者は事務所などを届出することになりました。

経過措置

平成16年4月1日現在、現行食糧法に基づく登録卸売業者、登録小売業者、登録出荷取扱業者および自主流通法人については、同日から届出事業者とみなされま

問い合わせ先

青森農政事務所地域第二課
TEL 0172-2716180

2月の行事予定

- 町民カレンダーと合わせてご利用ください。
- 行事についての問い合わせ TEL 62-2111 五戸町役場

- 1日(日) 町長杯争奪ソフトバレーボール大会 9:00~ 五戸中学校
- 15日(日) 救急法講習会 8:45受付 スポーツ交流センター
- 16日(月)・19日(木)・22日(日) 五戸町スキー教室
- 17日(火) 「南部絵暦」解説講習会 13:00~ 町図書館
- 29日(日) フットベースボール交流大会 9:00~ 五戸ドーム

2月の献血

健康なあなたと私にできること

- 18日(水) 9:30~10:30 JAしんせい五戸川内支店
- 11:00~12:00 南部バス(株)
- 13:30~15:30 五戸総合病院

2月の相談

相談は無料です

- 10日(火) 人権特設相談 13:30~16:00 社会福祉センター
- 13日(金) あすなろ教室 13:00~17:00 町立公民館
- 26日(木) 浅田地区健康相談 13:00~15:00 役場浅田支所
- 毎週木曜日 健康相談 13:00~15:00 地域保健センター
- 交通事故相談(八戸支所) 毎週月曜日から金曜日 9:00~16:00 県八戸合同庁舎2階
- 交通事故巡回相談所 10日(火) 10:00~15:00 23日(月) 八戸市市民相談室

平成16年度 平成15年分
町県民税・所得税の申告相談

■日程を守って忘れずにお出かけください。
■下記期間中は、役場税務課での申告受付はできませんので注意してください。

申告相談日程表

月日	曜日	会場	対象地区	受付時間
2月9日	月	瑞穂館	大森・大久木・佐野	午前9時~午前11時 午後1時~午後3時
10日	火	〃	上区・池ノ堂	
12日	木	〃	石巻	
13日	金	〃	切谷内	
16日	月	〃	菖蒲川	
17日	火	〃	菖蒲川・粒ヶ谷地	
18日	水	〃	中区・北市川	
19日	木	〃	下区	
20日	金	浅水活性化センター	扇田・野沢・北向・関口	
23日	月	〃	浅水下・上豊川・下豊川	
24日	火	〃	浅水上・手倉橋・荷軽井	
25日	水	豊間内地区コミュニティセンター	志戸岸・岩ノ脇	
26日	木	〃	豊間内	
27日	金	五戸町立公民館	ひばり野	
3月1日	月	〃	上大町	
2日	火	〃	川原町	
3日	水	〃	兔内・下新井田・根前	
4日	木	〃	新町	
5日	金	〃	新町・博労町	
8日	月	〃	博労町	
9日	火	〃	博労町	
10日	水	〃	下大町	
11日	木	〃	下大町	
12日	金	〃	蛭川・ひまわり団地	
15日	月	〃	荒町	

●問い合わせ先 役場税務課 ☎62-2111 内線132・133

障害者の方に対する携帯電話基本料金等割引サービス

携帯電話が日常に欠かせないものとして広く普及していることから、次のメーカーで基本使用料などが割引になるサービスが開始されています。

- 対象者
 - ・次の障害者手帳のいずれかの交付を受けている方
 - ・身体障害者手帳
 - ・療育手帳
 - ・精神障害者保健福祉手帳
- 割引メーカー
 - ・(株)NTTドコモ
 - ・ボーダフォン(株)
 - ・KDDI(株)
 - ・ツーカーグループ
- 割引内容
 - ・基本使用料
 - ・通話料
 - ・メール送受信料 など
- 申し込み方法
 - ・(株)NTTドコモ
 - ・ドコモ電話からは局番なし「151」
 - ・一般電話からは「0120-800-000」

ボーダフォン(株) ボーダフォン電話からは局番なし「157」

一般電話からは「0088-240-1157」

KDDI(株) a u電話からは局番なし「157」

一般電話からは「0077-77-1111」

ツーカーグループ ツーカー電話から局番なし「151」

農地の買受人募集

大字豊間内字金蔵塚17畑 1965㎡

- 申し込み期限 平成16年2月13日(金)
- 申し込み・問い合わせ先 農業委員会事務局 TEL 62-2111 内線241

自動車の変更手続き・車検はお早めに

例年3月は名義変更・廃車・住所変更などの手続きで運輸支局および事務所の窓口は大変混雑し、申請者の皆さんに大変ご迷惑をおかけしています。名義変更や廃車などの手続きは、できるだけ3月上旬までに済ませるようお願いいたします。3月は車検も大変混雑します。車検は1カ月前から受けることができますので、早めの車検をお願いいたします。

また、最近、登録事項等証明書を書用した組織的な自動車盗難事件などが発生しています。このため、運輸支局および事務所の窓口において登録事項等証明書交付請求および自動車検査証再交付申請時に身分確認を行っていますので、ご協力をお願いします。

- 問い合わせ先 国土交通省東北運輸局青森運輸支局 八戸自動車検査登録事務所 TEL 20-3161

五戸町交通安全対策協議会 五戸警察署

県内の交通事故概況
(平成15年) 青森県交通対策協議会

発生	12月中		年累計	死者の状態	飲酒運転による死者	
	件数	前年同月比			12月中	年累計
発生	864件 (-30)		9,100件 (-26)	シートベルト着用していれば助かったと思われる人	10人 (-7)	
死者	14人 (+7)		104人 (+1)		高年齢者の死者~65歳以上の人~	48人 (+3)
傷者	1,105人 (-4)		11,473人 (-41)	自動車乗車中の死者	49人 (-1)	
				非着用死者	22人 (-3)	

* ()内は前年。累計は1月から。速報値のため後日変更することがあります。

毎月1日は県民交通安全の日

確定申告と納税のお知らせ

平成15年分個人の申告と納税の期間(納期限)は次のとおりです。

- ・申告所得税 2月16日(月) ~ 3月15日(月)
- ・消費税および地方消費税 2月16日(月) ~ 3月31日(水)
- ・贈与税 2月2日(月) ~ 3月15日(月)

●問い合わせ先 八戸税務署管理徴収第1部門 TEL 43-0142

郷土探訪

「中市用水堰」

五戸地方の稲作の基底をなしているのは用水堰である。地域の人々は川を流れている水をくんでも、そこで洗濯しても文句を言う人はほとんどいない。しかし、川から水路に入った水を勝手に使おうとするとたちまち問題になる。

これは水路に入った水は自然水でも施設や操作に要する費用、水利費がかかるからである。農民の生産量を増大させた用水堰は、一体いつごろからできているのだろうか。

五戸川の中市用水堰は約700年前から開設されていたと推察され、当時の耕地調査によると、

堰袋の郷 11町5反9合
石沢の郷 5町6反8合
中市の郷 8町5反4合

と記録されている。永仁5年(1297年)の調査以前にも水田耕作をしていたことに

なる。管理は郷地頭の掌中にあつた。建武2年(1335年)、三浦介の代行が地頭の指揮を執り、中市地域の水路取入口を設けて用水堰の基礎を築いたことになる。

慶長4年(1599年)五戸郷藩吏木村秀清が免内館を仮館にして、米の生産増加を目当てに新田開発に着手、五戸市川(現五戸川)の水系全体を子の木村空助が支配している。新田開発がはじまったのは約400年前の慶長8年(1603年)、上新井田(五戸高校前)から銀杏木(笠松付近)をう回して越掛沢へと堰溝が順次できている(通称大堰)。慶長期から元和期、寛永期、寛文期、そして元禄期には12キロメートルまで延び、今の五戸たんぼの基礎が造られた。

元禄時代、木村秀晴代官が

水田開拓の測量研修のため3カ月不在となった。帰ってみると代官の愛人菊は身ごもっており、子どもが生まれるのを待たずに処刑したという。そして、赤ん坊は代官屋敷の神社脇に、菊は八幡宮裏に埋葬したという伝説が今も残っている。

中市筒口の東側にとりくち(樋口)があり、そこに「やまが」の木が生えている。根元に文化14年(1817年)の「堰口明神」と刻まれた



4月下旬の中市用水の堰さらい

祠が建っている。水の神様で稲の豊作祈願と水難防止に農民から豊耕守護神として敬われてきた文化遺産である。

用水管理は地頭、代官、明治は戸長、村長、水門番、守があたり、方言では「筒口守り」と呼んでいた(万年間1860年、村役人の筆頭は肝入りで、筒口水係とも言われた)。

約150年前の万延元年9月、五戸川原の北出口に四ツ家水車を造りたいと時の代官今渕直之丞様、高野恵吉様に図面を付けて願ひ出て、

生活の中心である飯米や酒米、糶米をひく水車が3カ所川原町にできた。分水の導入や普請は地主の自己資金とし、使用料は年額3貫文を管理者に支払うとあった。明治初期、倉石・五戸・川内の3村が「土功会」を作り水田380町歩を潤おした。

明治24年には水利組合を創設、樋口が筒口(取入口)に、さらに頭首工となった。これもとで水利組合、土地改良区が生まれた。法律の改正により昭和26年5月25日、中市筒口土地改良区ができて組合員883人、水田434ヘクタールとなった。今は時代の流れとともに休耕田、住宅地なども多くなり、昔ののどかなたんぼ風景が珍しい世となった。

五戸町文化財審議委員

三浦 榮一

あたたかい善意

人材育成基金として
合資会社岡村商店(岡村悦雄代表社員)から
25、1000円

町の人口

町の人口		(前月対比)
男	8,824人	(+12)
女	9,361人	(+4)
総人口	18,185人	(+16)
世帯数	5,799世帯	(±0)
平成16年1月1日現在		